

留学生のための日本語作文ガイドブック (文体・文法)

概要

2022年4月1日 資料(PDF版、パワーポイント版)

木戸光子・加藤あさぎ・小池康・平形裕紀子・
石川早苗・君村千尋

目次

1. 教材の概要
2. クリエイティブ・コモンズ・ライセンスによる公開について
3. PDF版とPPTX版の入手方法
4. 学習項目【執筆者名】
5. ウェブサイト
6. 成果発表
7. 参考文献

1. 教材の概要

この教材は、日本語作文を勉強する留学生のために、作文で気になる表現をパワーポイント資料で説明したものです。筑波大学グローバルコミュニケーション教育センターで日本語補講中上級作文を担当した教員、木戸光子・加藤あさぎ・小池康・平形裕紀子・石川早苗・君村千尋が開発しました。

この教材は以下の科学研究費補助金による助成を受けた研究成果の一部です。

科学研究費補助金・基盤(C) 2016年度～2019年度

課題番号: 16K02795

研究課題名: 文章構造における誤用分析に基づく文章表現辞典の開発

研究代表者: 木戸光子

2. クリエイティブ・コモンズ・ライセンス による公開について

この教材は「クリエイティブ・コモンズ・ライセンス」(<https://creativecommons.jp/>)に従って以下のように公開しています。

表示-非営利-継承



「原作者のクレジット(氏名、作品タイトルなど)を表示し、かつ非営利目的に限り、また改変を行った際には元の作品と同じ組み合わせのCCライセンスで公開することを主な条件に、改変したり再配布したりすることができるCCライセンス。」

著作権

筆者の木戸光子・加藤あさぎ・小池康・平形裕紀子・石川早苗・君村千尋が保持します。

使用許諾

個人の学習や授業での利用の場合は、自由にお使いください。使用する時は出典の明記をお願いします。また、改変や再配布するときも、出典を明示してください。

出典:「留学生のための日本語作文ガイドブック」木戸光子・加藤あさぎ・小池康・平形裕紀子・石川早苗・君村千尋、2022年
<https://nihongosakubun.jimdoofree.com/>

営利目的では使用しないでください。その他、使用について質問があれば【連絡先】にお問い合わせください。

3. PDF版とPPTX版の入手方法

PDF版

直接ウェブサイトからダウンロードできます。

PPTX版(パワーポイント版オリジナル)

【連絡先】にお申し出ください。

【連絡先】 kido.shukudai#gmail.com 木戸光子
(#は@に変えてください)

4. 学習項目【執筆者名】

1. 文体【加藤あさぎ】
2. 引用【小池康】
3. 接続詞・接続助詞【石川早苗】
4. 疑問文【木戸光子】
5. 文末表現【君村千尋】
6. 「る・た・ている」(テンス・アスペクト)【平形裕紀子】

1-1. 文体の概要

1. 文体とは
2. いろいろな種類の文体 +練習問題
3. 文体によって変わる言葉 +練習問題

1-2. レポート・論文の文体

1. 普通体(だ・である体) +練習問題
2. 連用中止形 +練習問題
3. 注意点 +練習問題

2-1. 基本的な文型

1. 文型①: 正用例、誤用例
 2. 文型②: 正用例、誤用例
 3. 文型②の類似表現の違い
- + 練習問題
- + 練習問題

2-2. 引用の種類

1. 直接話法と間接話法の表現方法の違い
 2. 直接引用: 正用例
 3. 間接引用: 正用例、誤用例
 4. Webからの引用
- + 練習問題
- + 練習問題

2-3. 著者の意見と書き手の意見の明示

+ 練習問題

3-1. 接続詞・接続助詞とは

1. 接続詞・接続助詞とは
2. 主な接続詞・接続助詞

3. 接続詞・ 接続助詞

3-2. 順接の接続詞

1. 「だから」・「そのため」・「したがって」 + 練習問題
2. 「だから」の回避

3-3. 逆接の接続詞・接続助詞

1. 逆接の接続詞・接続助詞 + 練習問題
2. 譲歩の逆接文 + 練習問題

3-4. 列挙の接続詞

1. 列挙の接続詞 + 練習問題
2. 列挙の接続詞の組み合わせ・連続 + 練習問題
3. 列挙の注意点 + 練習問題

3-5. 補足の接続詞

1. 補足の接続詞 + 練習問題

3-6. おわりに

4-1. 文の中の疑問文

1. 動詞文・形容詞文・名詞文の一部
2. 助詞と同じ働きの語の前
3. 「か」と「の」「こと」の違い
4. 文の中に疑問詞があるとき
5. 2つのことの名詞化 「こと」vs.「か」
6. 「か」があるとき、ないときの違い

+練習問題

4-2. 疑問文で問題を取り上げる表現

1. 「～のか」「～のだろうか」
2. <普通体>と<丁寧体> +練習問題
3. 疑問詞と「は」のまちがい

4-3. 疑問文で意見を言う表現

1. 「～のではない(だろう)か」
2. 「～と思う」と「～のではない(だろう)か」の違い +練習問題

5. 文末表現

5-1. …べきだ / …なければならない

5-2. V-てほしい / V-たい

5-3. V-るつもりだ

5-4. …かもしれない / …だろう

5-5. …にちがいない / …はずだ

5-6. …わけだ

5-7. …のだ

+練習問題

+練習問題

6. 「る・た・ている」 (テンス・アスペクト)

6-0. 「る」「た」「ている」形の基本

6-1. 「る」形の基本の使い方

6-2. 「た」形の基本の使い方

6-3. 「ている」形の基本の使い方

6-4. 特別な場合

1. 思考を表す場合
2. 以前と現在とで変化が起きた場合
3. 情報源を表す場合
4. 実際には起こらなかったことを表す場合

6-5. 場面に応じた使用例

1. 状況説明
2. 人物説明 + 練習問題
3. 仕組みの説明 + 練習問題
4. あらすじ + 練習問題

+ 練習問題

5. ウェブサイト

- <https://nihongosakubun.jimdo.com/>
フロントページ
- <https://nihongosakubun.jimdo.com/%E4%BD%9C%E6%96%87%E3%82%AC%E3%82%A4%E3%83%89%E3%83%96%E3%83%83%E3%82%AF/>
作文ガイドブックのページ

6. 成果発表

- 木戸光子・加藤あさぎ・小池康・平形裕紀子・石川早苗・君村千尋(2019)「中上級日本語学習者のための作文ガイドブックの開発」『日本語教育論集』第34号、筑波大学グローバルコミュニケーション教育センター <https://ci.nii.ac.jp/naid/120006599974/>
- 木戸光子・加藤あさぎ・小池康・平形裕紀子・石川早苗・君村千尋(2019)「文脈に関わる文法・文体に着目した『作文ガイドブック』の開発」(2019)筑波大学 グローバルコミュニケーション教育センター 日本語・日本事情遠隔教育拠点シンポジウム2019『未来志向の日本語教育』ポスター発表、2019年2月16日(筑波大学)
- 木戸光子・加藤あさぎ・小池康・平形裕紀子・石川早苗・君村千尋(2020)「中上級日本語学習者のための作文ガイドブックの開発と授業での使用—作文に頻出する学習者の誤用を踏まえて—」ポスター発表、日本語教育方法研究会、2020年3月14日(東京大学本郷キャンパス開催中止)(『日本語教育方法研究会誌』Vol.29)
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jlem/26/2/26_142/_article/-char/ja/

7. 参考文献1

補講中上級「書く」担当者による研究プロジェクト

- 木戸光子・加藤あさぎ・小浦方理恵・石上綾子・田中孝始・長戸三成子・中山健一・山本千波・李在鎬(2010-2016)「中上級日本語レベルチェック作文データ」(電子データ、学内公開)、筑波大学留学生センター
 - 第1期データ:2011年度に実施。中級前期(J500)35、中級中期(J600)60、中級後期(J700)37、上級(J800)32、上級(J900)21の計185編
 - 第2期データ:2012年度及び2013年度に実施。中級前期(J500)213、中級中期(J600)177、中級後期(J700)94、上級95(J800&J900)の計579編
- 木戸光子・石上綾子・加藤あさぎ・田中孝始・長戸三成子・中山健一・和氣圭子(2012)「日本語スタンダードに基づく中上級日本語作文コースの構築に向けてー補講コース『J500-900書く』の報告ー」『日本語教育論集』第27号、筑波大学留学生センター、pp.207-227
<https://ci.nii.ac.jp/naid/120004791431>
- 加藤あさぎ・小浦方理恵・石上綾子・木戸光子・田中孝始・長戸三成子(2016)「中上級日本語学習者のレベルチェック作文における典型的問題点」『日本語教育論集』第31号、筑波大学グローバルコミュニケーション教育センター、pp.127-145 <https://core.ac.uk/download/pdf/56662639.pdf>

7. 参考文献2

参照した作文関係の教科書・文型辞典・論文

- ・ アカデミック・ジャパニーズ研究会編(2015)『改訂版 大学・大学院留学生の日本語②作文編』アルク
- ・ アカデミック・ジャパニーズ研究会編(2015)『改訂版 大学・大学院留学生の日本語④論文作成編』アルク
- ・ 庵功雄・高梨信乃・中西久美子・山田敏弘(2001)『中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク
- ・ 庵巧雄・清水佳子(2003)『日本語文法演習 時間を表す表現—テンス・アスペクト—』スリーエーネットワーク
- ・ 庵功雄・高梨信乃・中西久美子・山田敏弘(2006)『中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク
- ・ 石黒圭・筒井千絵(2009)『留学生のためのここが大切文章表現のルール』スリーエーネットワーク
- ・ 石黒圭(2016)『「接続詞」の技術』実務教育出版
- ・ 市川保子編(2010)『日本語誤用辞典 外国人学習者の誤用から学ぶ 日本語の意味用法と指導のポイント』スリーエーネットワーク
- ・ 井下千以子(2014)『思考を鍛えるレポート・論文作成法』慶応義塾大学出版会
- ・ 今村和宏(1996)「論述文における「のだ」文のさじ加減 —上級日本語学習者に文の調子を伝える試み—」『言語文化』33 一橋大学語学研究室
- ・ 大島弥生・池田玲子・大場理恵子・加納なおみ・高橋淑郎・岩田夏穂(2014)『ピアで学ぶ大学生の日本語表現[第2版]—プロセス重視のレポート作成』ひつじ書房
- ・ 沖森卓也(2016)『文章が変わる接続詞の使い方』ベレ出版
- ・ グループ・ジャマシイ編(1998)『教師と学習者のための日本語文型辞典』くろしお出版
- ・ 小森万里・三井久美子(2016)『ここがポイント！レポート・論文を書くための日本語文法』くろしお出版
- ・ 佐藤政光・田中幸子・戸村佳代・池上摩希子(2002)『にほんご作文の方法』第三書房
- ・ 白川博之(2007)「学習者の誤用・非用をどう考えるか」『広島大学大学院教育学研究科紀要第二部(文化教育開発関連領域)』56号、pp.173-179
- ・ 友松悦子・和栗雅子(2004)『短期集中初級日本語文法総まとめ ポイント20』スリーエーネットワーク
- ・ 友松悦子(2008)『小論文への12のステップ』スリーエーネットワーク
- ・ 友松悦子・和栗雅子・宮本淳(2010)『どんなときどう使う日本語表現文型辞典』アルク
- ・ 二通信子・佐藤不二子(2003)『改訂版 留学生の論理的な文章の書き方』スリーエーネットワーク
- ・ 日本語記述文法研究会編(2003)『モダリティ』くろしお出版
- ・ 宮崎和人・安達太郎・野田春美・高梨信乃(2002)『新日本語文法選書4 モダリティ』くろしお出版
- ・ 由井紀久子・大谷つかさ・荻田朋子・北川幸子(2012)『中級からの日本語プロフィシエンシーライティング』凡人社